

スウェーデン出身の環境ジャーナリスト、レーナ・リンダルさんを招いて、「ゆとろ」で開催した「環境を考えるフォーラム」。

レーナさんは、「スウェーデンが目指す自然循環型社会」と題して、ごみやエネルギー、環境問題を、スライドを交えながら分かり易く講演しました。

講演後のワークショップは、「ごみ減量化」、「新エネルギー」、「環境教育」の3つのテーマで話し合いました。参加した15名の町民は、3つのテーマで真剣な意見交換を行い、「ごみ減量化」では、分別やりサイクル、生ごみ処理など、普段感じていること、疑問、問題に思うことを出し合い、住民のマナーや意識改革、減量化対策のあり方などを探りました。(11月8日)

環境を考えるフォーラム



参加する環境に配慮した美しいまち 当別町「環境を学ぶフォーラム」



手作りピザっておいしいね！



町食生活改善推進協議会(佐々木慶子会長)が、親子に野菜や食事の大切さなどを理解してもらおうと親子料理教室を行いました。

西当別コミセン会場には18組、ゆとろ会場には17組の親子が集まりピザ作りに挑戦しました。

子ども達は、町の管理栄養士と同会員の指導を受けながら、小麦粉から生地を作り、同会員が持ち寄った新鮮な野菜を慣れない手つきで切りました。

グループごとに思い思いにトッピングされたピザはオープンで焼かれ、出来上がったアツアツピザにどの親子も満足げに頬張っていました。また、1日に必要な野菜の量を実際に計量し、改めて食事の大切さを確認していました。(10月26日)



5月のオープンから数多くのイベントを行ったまちの駅「アウル」は今年最後のイベント「大感謝祭」を開催。

会場では、来場者に米・小豆の無料配布やビンゴゲームなどが行われ楽しいひとときを過ごしました。「アウル」のイベントを盛り上げてくれた「タイガースポンサー」の引退式で、マスクを取り素顔になった医療大の笹森さんは「来年はジャイアンツに移籍をしてジャビットでがんばります」と移籍宣言！

また、餅つき体験では子ども達が慣れない手つきで杵を持ち足元がふらつきながらも必死に餅をついていました。つきたての餅は黄粉餅にして来場者に振る舞われました。

(10月26日)

1万2千人が来場「アウル」今年はおしまい

「第1回危険業務従事者叙勲」に町から3名の方が瑞宝単光章を受章しました。この叙勲は春・秋の叙勲とは別に今年から新たに設けられ、現場での危険な業務に精励し、自己を犠牲にして社会貢献した人に授与されるものです。

危険業務で叙勲受章

▶ 消防功労 ◀

34年有余に亘り、数多くの災害・火災に出動し、機敏な行動と豊富な経験で対処し、その重責を全うしました。



山上嘉平さん
(樺戸町) 74歳

▶ 警察功労 ◀

昭和43年に太美駐在所勤務となり、昭和60年退職まで主に北警察署管轄で勤務し、住民生活の治安維持に尽されました。



松浦光雄さん
(当別太) 77歳

▶ 防衛功労 ◀

昭和57年から当別航空自衛隊第45警戒群所属。平成8年の退職まで群本部総務係長として、豊富な知識と円満な人柄で町との架け橋として活躍されました。



瀬瀬政春さん
(太美南) 61歳

スウェーデンヒルズ町内会が開催したスウェーデン交流センターでの文化祭。

毎年、同町内会が独自に開催しているもので、昨年を上回る66名、195点の作品が展示されました。この中には、同町内会青少年育成部が用意した使い捨てカメラで子ども達が撮影した写真や、陶芸に挑戦した小学生の作品なども展示され、地域全体が参加した文化祭となりました。

飾られた絵画や染め・織物、木工、創作作品など質の高い作品に、訪れた人は感心して見入っていました。

(10月29日～11月3日)



スウェーデンヒルズ文化祭



介護老人保健施設「愛里苑」で看護師長の高橋和歌子さんは、永年の老健施設従事の功績が認められ、この度厚生

労働大臣表彰を受賞しました。高橋さんは、平成3年から愛里苑で通所リハビリ主任としてリハビリの充実や、老健施設が地域社会に果たす高齢者ケアの中核として活動を続けてきました。

愛里苑の高橋さん大臣表彰を受賞

心を込めたクリスマスカード

ボランティア活動をしている有志が集まり、配食サービスを受けている家庭に送るクリスマスカード作りをしました。

ボランティアセンターが呼びかけ、今年で4回目のカード作りは、パソコンでプリントした台紙に折り紙で作ったサンタクロースや綿の雪を一枚ずつ丁寧に貼り付け、65枚を作成しました。

毎年、カードが届くのを楽しみにしている人もいて、参加したボランティアの方も「作った甲斐がある」と熱心に取り組んでいました。(11月10日)

